

平成 29 年 2 月定例教育委員会会議録

1. 2 月定例教育委員会会議

- [1]期 日 平成 29 年 2 月 27 日 (月)
- [2]場 所 市教育委員会 教育長室
- [3]会議時間 午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで
- [4]出席委員 橋口玄郎委員長、池野康己委員長職務代理者
杉尾優子委員、連尺野智子委員、竹之下悟教育長
- [5]参 与 中武教育政策課長、渡邊社会教育課長、
伊達スポーツ振興課長、田中教育政策課課長補佐、
杉本教育政策課課長補佐、山本教育政策課教育総務係長
- [6]議事日程 第 1 会議録の承認 1 月定例教育委員会会議録
第 2 行政報告 2 月行政報告について
第 3 議案第 3 3 号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正に
ついて
議案第 3 4 号 西都市文化財の指定について
議案第 3 5 号 平成 28 年度補正予算要求について
議案第 3 6 号 平成 29 年度当初予算要求について
第 4 そ の 他 ①西都市立中学校大会等参加費助成交付要綱の制定及び
西都市学校体育事業費補助金交付要綱の一部改正につ
いて
②1 月及びこれまでの定例教育委員会での懸案事項等につ
いて

2. 開 会

委 員 長 ただ今より、2 月定例教育委員会を開催いたします。

3. 会議録承認

委 員 長 はじめに、1 月定例教育委員会会議録の承認を求めます。
会議録については既に原案を配付しておりますが、会議録に記載した内容についてご異議ございませんか。

(異議なし)

委 員 長 ご異議ないようですが、一部修正の必要な箇所がありますので、必要な修正ののち会議録を承認することといたします。

4. 行政報告

委 員 長 つづいて、2 月の行政報告をお願いします。

教 育 長 2 月の行政報告について、概要を報告いたします。

(主要なもの)

- ・押川修一郎市長就任
- ・県教育委員会説明
- ・県教育研究機関連絡協議会研究発表大会
- ・西都市幼保小連携協議会
- ・教育委員会視察研修
- ・西都市校長会
- ・宮崎県公立小・中学校初任者研修並びに宮崎県公立学校養護教諭初任者研修
- ・指導力向上 brush-up 研修会
- ・第2回西都市安全教育連絡協議会
- ・日向国府調査指導検討委員会
- ・イタリア視察報告ロビー展
- ・歴史民俗資料館企画展
- ・生涯学習フェスティバル
- ・第11回教育長杯パークゴルフ大会
- ・台湾（羅東鎮）行政調査

(押川修一郎市長就任について)

3月議会もやってまいりますが、新年度予算については、いわゆる骨格予算として、6月議会において施政方針の説明、さらには肉付き予算の上程が行われるという運びになっておりますので、お知らせをしておきます。

(県教育委員会説明について)

全市町村の教育長を対象に平成29年度県教育委員会の新規事業について説明がありました。その中で教職員課から新たな人事異動制度について意見を伺いたいと提案がありました。その主たる提案の目的は、地域に根ざした教育の一層の推進を図るため、教職員のワークアンドライフバランスの充実に配慮した新たな人事異動制度を導入しようとするものであります。その新たな制度の概要は、大きく三つであります。一つは、同一地区内勤務年数というものが、私たちは「5上15上」という言葉を使っております。一つの学校に5年以上、児湯管内に15年以上勤務実績がある場合には、外に出て行く資格ができるということですが、これを「5上10上」に短縮をするということが一つであります。二つ目は広域異動ルールの設定です。県内の異動対象地区を6地区に分けておるんですが、その6地区を区分A、区分B、区分Cという3つに分けて勤務をすることのルール化をしようというものであります。区分Aというのは異動希望地の多い地区、区分Bというのは異動希望の少ない平地校、区分Cというのはへき地計画交流対象校ということで、教職員生活の中で、全ての区分の学校に勤務することをルール化しようということになります。ちなみに、西都市、児湯管内は区分Aということで、異動希望地区の多い地区になります。三

つ目が、地域に根ざした教育の推進ということでエリア内異動の導入ということでもあります。つまり、生活本拠地を中心として一定のエリア内での異動を考慮するというので、例えば西臼杵出身の方でそこに家があるという方々は、希望すれば隣接エリア内の中で異動できるという制度であります。この対象者については、平成30年の4月から採用される教職員ということですが、3月末に改めて市町村の教育長に集まっていただいて意見交換会を行うという予定となっております。このように教職員の人事異動の制度も大きく変わっていく状況があります。

(県教育研究機関連絡協議会研究発表大会について)

1月にありました教育研究センターの報告会での内容を改めて発表したところでありました。今回は検証授業を通していないというハンディはあったんですが、さいと学の授業の充実に向けて、人材活用、体験活動を重視した取組でした。例えば人材活用の場面では地域からおいでいただく講師と打ち合わせシートというものを活用して行うこと、体験活動についてはその前後に位置する学習内容についても大事だということ、それを踏まえること等を提案しました。参加者からも大切な視点であるし有効でもあるとの意見感想、共感をいただいたところです。1月の報告会は教育委員の皆さんにもご出席いただいておりますので、感想等あればお願いしたいと考えております。

(西都市幼保小連携協議会について)

小1プロブレムの解消とともに幼児期と児童期の円滑な接続を図ることを大きな目的として平成25年度に立ち上げているものであります。この会の中で10の重点指導事項、4つの実践事項というものを作り上げ、その実施状況も調査しております。結果からは幼・保・小とも目に見えるかたちで成果が現れてきており、うれしく捉えているところです。今回はさらなる幼保小連携を目指して、県の研修センターの阿部泰宏指導主事に「これからの幼保小連携について」ということでの話をいただいたところでありました。また、話の中では、幼稚園段階は単に小学校の準備段階ではないということ、小学校に入るとゼロからのスタートだというような考え方をする向きもややありますが、子どもの立場からすれば、学びとか生活は連続している。故に、つなぐという教育の視点が非常に大事だということ等について具体的な演習も交えての話で、有意義な会となりました。

(教育委員会視察研修について)

1日目は大分県の宇佐市の安心院中学校と宇佐市民図書館、2日目には豊後高田市の教育委員会で研修を行いました。その都度に委員さん方からも質問や感想をいただいておりますが、改めてこの場でお出しいただくところがあればぜひお願いしたいと考えております。

(西都市校長会について)

最後の校長会がありましたので、私のほうからお礼等も含めて次年度の

西都市教育委員会の取組等についてもお話をしたところでありました。次年度は、目に見える学力も意識した日常授業の改善に向けて、イメージとしては西都市の3C作戦。3Cとはチャンス、チャレンジ、チェンジの頭文字をとったものでありますが、日常授業はみんなが伸びるチャンス、失敗を恐れずチャレンジしよう、必ず先生たちも子どもたちもチェンジする。そのために教育委員会とともにチャレンジ、チェンジしていくチャンスにしますということをお話をしたところでありました。

(宮崎県公立小・中学校初任者研修並びに宮崎県公立学校養護教諭初任者研修について)

これで初任者の校外研修は全て終了するということになります。4月1日に委員さん方にもお出でいただいて辞令交付式等にご出席いただいておりますが、妻中学校の男性教諭が2名、三財中学校の養護教諭の計3名は、それぞれ校長からの評価も高い状況があります。1年間を通して学校内外でよく成長したなという思いを持ちながら研修会に臨んだところでありました。

(指導力向上 brush-up 研修会について)

例年この研修会は夏休みを予定しておりますが、講師の都合で本日になりました。タイミングが良くて、本日の宮崎日日新聞の文化くらしの欄に、講師の赤坂真二先生のごことが載っておりました。学力向上の基盤となる学級づくりの充実という観点から今日はお話をいただくことになっております。

(第2回西都市安全教育連絡協議会について)

年に2回開催しております。教育委員会をお願いしておりますスクールアドバイザーにもお出でいただいて、1回目以降行った各学校区ごとの通学路の安全点検ということや今後に向けての協議をすることになります。

(日向国府調査指導検討委員会について)

本年度の調査内容、経過を説明した後、委員の皆様にも現地に赴いていただいて、その調査結果の評価をいろいろいただきました。指導をいただいた部分については、検出した前身官衙南門跡に重複している遺構群などが三箇所あるんですが、今後そこをどう調査していけばいいか等についての指導助言もいただきました。

(イタリア視察報告ロビー展、歴史民俗資料館企画展、生涯学習フェスティバルについて)

本日資料としてお配りしておりますが、3月5日に生涯学習フェスティバルがあります。西都市歴史民俗資料館では企画展として、マンショの足跡を訪ねるイタリア視察の写真展が資料館の1階で、2階では「比べてみよう今昔歴史の教科書」を行っております。ちなみに、鎌倉幕府が成立したのはいつと聞かれると「いいくに」という語呂合わせて1192年と私たちは覚えておりますが、平成の教科書では7年くらい遡って1185年だという

ふうに歴史も我々が学んできたことと随分違いが出ています。今、鎌倉幕府のことをいいましたが、例えば日本最古の貨幣は和同開珎ではありませんとか、鎖国という言葉も今は使いませんとか、興味引かれるものがあります。学校等にも紹介しておりますが、3月5日まで行われますので、委員の皆様方々にも社会教育課、公民館、図書館、資料館等に足を運んで見ていただければということでご案内をさせていただきます。

(第11回教育長杯パークゴルフ大会について)

100名定員に今年も120名を超えて、そして今年も北海道から、室蘭ナンバーとか札幌ナンバーのキャンピングカーでの参加があったところでありました。当日は大変天候に恵まれまして、ホールインワン賞も用意しておったのですが、好成績で賞品が追いつかなかったということ等の報告を受けたところでありました。

(台湾(羅東鎮)行政調査について)

今後相互交流をしていく中で、こちらから向こうに行ったときに何が交流できるのかという調査目的で、スポーツ振興課は課長が、社会教育課は補佐と係長で行ってもらったところでありました。お尋ね等があれば担当のほうでお答えしたいと考えております。

委員長 羅東鎮の行政調査について追加説明がありますか。

スポーツ振興課長 スポーツ振興課としまして、スポーツ少年団と交流ができないかということで羅東鎮に調査に行かせていただきました。向こうの方で熱烈的な歓迎をしていただきました。向こうの少年団の実情としては、向こうにスポーツ少年団という組織はございません。西都市の場合は少年団活動としまして11種目の競技がございますけれども、台湾の宜蘭縣では各学校にクラブ活動というかたちで学校ごとにそれぞれ力を入れている種目がございます。ある小学校では陸上、水泳、バスケット、ほかの学校では陸上、野球、バスケットとそれぞれ各学校で力の入れ方が違うということも分かりました。また、西都市から台湾に行った場合の宿泊所の関係などを調査して参りました。それにつきましては、市長に報告をさせていただきましたけれども、ホームステイで向こうは対応できるのではないかというようなお答えをいただいたところでございますので、今後また西都市のスポーツ少年団の指導者や保護者とも協議をいたしまして、どういった交流ができるのか研究をして参りたいと思っております。

社会教育課長 子ども会関係での交流ができないだろうかということで調査をさせていただいたところでございますが、羅東鎮には子ども会といった組織は特になかったということで、ボーイスカウトといった組織はございますので、そういう方向で交流はできないか。また、ジュニアリーダー関係との交流ができないかということも含めて今後検討していきたいと考えているところでございます。

委員長 日本の場合は、少子化と過疎化という非常に大きな問題を抱えているわ

けですが、その辺は台湾はどうなっているんですか。

スポーツ振興課長 少子化というところまでは具体的な質問はなかったんですけども、学校と保護者を含めて、子どもに対する熱意が非常に強いというのは感じたところでございます。少子化については質問ができませんでしたので、分かりかねるところです。申し訳ありません。

委員長 子ども会にしてもスポーツ少年団の交流にしても、お互いが少ない人数でもと思ったところでした。その辺のところも今後調べていただけたらいいのかなと思いました。教育政策課の関係で、研修センターの報告会があったのですが、それについての感想と先だつての大分の視察研修について委員さんから感想があればお願いをしたいと思います。まず、研修センターの発表会は、発表の形式も含めて昨年までと少し感じが違っていたような印象があったのですが、連尺野委員は何かありますか。

連尺野委員 研究をされた先生方というのがベテランの先生もいらっしゃったようですし、若手の先生方が交流されながら一つの目的で研究されているのは、これからの学校教育にすごく反映されていくのではないかなという感想を持ちました。若手の方々では考えが偏ったりとか、経験不足があったりというのものもあるのではないかなと思いますので、すごく良い取組を毎年されているということを感じました。

杉尾委員 いろいろと皆さんが協力し合ってひとつの方向に向かっているというのがすごく伝わってきたので良かったと思います。

池野委員 西都市内の先生方、特に若い先生方にもものすごく刺激になるような講演内容であったのではないかと思います。先生方のこれからの頑張りに期待したいと思います。

委員長 若い頃から感じていたことを講演でもおっしゃっていただいたことが一つあるのですが、学校の研究というのは、現状は誤解を恐れずに言えば、ゴールになっている感じがするんですよね。研究が終わったという感じですね。研究は終わったのではなくて、研究はスタートであるはずなんです。そういう表現も現場では良く聞くわけですが、そうではなくて、やはりせっかくものすごくエネルギーを使うのだから、そこを起点にして何か動く必要があるのではないかなという感じでしたが、あの先生はそういったところを強調されていたように思いました。よく言われる表現は、研究のための研究ということなんです。そういったことがない態勢が望ましいのかなと思いつつながら、毎年聞かせていただいて、研究そのものがうんぬんではなくて、その後どう活用されていっているのか、それがどんな成果に結びついているのかということ、常に言葉ではPDCAというふうにみんな言うんですが、本当にそうなのかということところが気になるという感じで聞かせていただいたところでもあります。是非立派な研究をされていますので、各学校がそれをそのままスライドして取り組むというのは、それぞれ学校の実情がありますので不可能ですが、各学校の実情に合わせ

て取り組んでもらえると有り難いと思いました。それから、全員参加というのを今度の新しい学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び」というキャッチフレーズをもって取り組もうとしています。そのことに関連して、あの先生の表現通りいけば、羞恥心をどこかに忘れ去った子どもたちがいはいと手を上げているけど、あれが本当に全員参加の授業になっていますかという表現をたしかされたかと思います。あのはいはいで非常に活発な授業になっているなというふうに授業を見させていただいているけれども、あの20名ぐらいの子どもの中に仕方なくはいはいと言っている子がおったら何もならないわけですよ。本当に参加しているということが実現できているのかなということが、あれを聞いてやっぱりそうだなと思ったところでありました。西都市の各学校の先生方の取組をうんぬんじゃなくて、やっぱりひょっとしたら誰か取り残されている子がいるのではなかろうかという仮定も持った上で各自授業に取り組んでもらえると有り難いと思います。新しい学習指導要領に「主体的・対話的で深い学び」と表現しているのはそういったところを見据えているのかなと思っていますので、本市の問題だけでなく、全国的に授業をもう少し変えていこう、改善していこうということでしょうから、そういったところがあるといいのかなと思いながら聞かせていただいていたところでもあります。それでは、21日の教育委員会の視察研修について、連尺野委員から何かありましたらお願いします。

連尺野委員

初日にお伺いしました安心院中学校ですが、学校内が大変落ち着いてまして、一人一人が授業にも集中して仲間意識を持ちつつ参加されているんだなということ、すごく意欲的に取り組んでらっしゃるところを感じました。その後にお伺いしました宇佐市民図書館ですが、建物もすばらしいですし、本の配置なども良く、大きい建物にたくさんの本が入ってまして、利用価値のある図書館だなと感じました。その建物の大きさだけでなく、小さな取組、お金もあまりかからないかたちで、手先の器用な市民の方をお願いして、折り紙講座を開いておりますとおっしゃってまして、そういう取組方もあるんだなと感じました。図書館は本を読むところだ、本を貸したり借りたりするものだという認識が私の中に随分あったものですから、この図書館が開かれた図書館、身近な図書館であるというのをすごく感じました。それから2日目に伺いました豊後高田市の教育委員会ですが、小中高一貫教育に加えて、幼児からの教育も流れとして大事であるということをしごく重要視されていて、またそれをいろいろな取組、活動を取り入れられてされていまして大変勉強になりました。初めて研修に参加させていただいたんですが、本当に時間が過ぎるのも忘れるくらいに実りの多い研修内容だったと思います。

杉尾委員

1日目に伺った安心院中学校なんですが、最初に見た授業の内容で、テストの答案を見ながらテストを再確認するという授業をしていて、答案用

紙をちょっとのぞくと、先生がただ○と×を付けるだけでなく、○だったらそこに何か一言、「verrygood」とか「とてもよい」とか一言が書き加えられていたのがすごく印象に残っています。あと、その後に行った市立図書館なんですけど、私も子どもがいるので、西都市の図書館はもちろん、県立図書館、宮崎の市立図書館、あと看護大の図書館とかいろいろ行くんですが、あそこの図書館はすごく配置というか、分類がちゃんとされて探しやすいそうだなと感じました。料理とか、病気や健康面とか、ここにはこれがあるんだと分かりやすく、とてもよかったです。2日目に伺った豊後高田市の教育委員会なんですけど、町全体で子どもたちのために教育に取り組んでいるというのがすごく伝わってきて、幼稚園の子どもから英語教育を取り入れたりだとか、面接はありますが、高田高校に無試験で入れると言われていまして、そういう目標じゃないんですが、そういうことがあると子どもたちも頑張ろうと思えます。去年でしたか、高田高校から京都大学に2名合格されているということでしたので、かなり教育に力を入れているなと思いました。

委員長

私の感想は当日申し上げた通りで、まず一番やっぱり悔しいというのは、施設の立派さで、競争のしようがないくらいに立派すぎるという感じがしたところであります。安心院中学校も非常に校舎が立派で、校長さんが着任した3年前はまだ荒れていた学校が、3年後の今はもう非常に落ち着いているということで校長さんの業績が立派なんでしょうけれども、全職員がそういう方向で取り組んだ成果であろうと思います。校長さんが一人頑張ってもなかなかうまくいかない例が多いと思いますので、そういう態勢を作ったということがあったんじゃないかというふうに思いながら聞きました。当日も申し上げましたが、国語の尊敬語はなぜ使わなくてはいけないかという授業のときに、子どもたちがそれぞれ作文を書いて、そこに○を付けたら線を引いたり、コメントを入れたりということがしてあって、一人の子どもに、毎回こんな授業スタイルなんですかと聞いたら、毎回そうなんですということでした。一人一人に目が行き届くという教育が、ある学力検査で国の平均よりプラス10何点とか、そこまで学力がついてきたと言えるようになったのかなというのが最初の印象でした。図書館は、とにかくフロアが広くて、書架が低いので、ずっと向こうまで見えるんですよ。広いからそういうぜいたくができるわけです。西都市の図書館は書架は高いですが、これは広狭の問題ですので、どうしようもならないとは思いますが、島津さんという方に、これだけ立派になっておったら、紛失というのはまず考えられませんかと言ったら、それは他市町村とあんまり変わらない、やっぱり紛失しますということでした。カード形式だからカードを人に貸すと、その人がそのカードを使って借りて返還がないという問題があるということなので誰が借りたかが分からなくなるわけですね。そういうところがあるという問題点はどこも似たようなことかなと思ったところ

でありました。それから、豊後高田市の取組については、河野教育長さんが言われたことが一番基本だろうと思います。校長先生方、一般の先生方も対象だったのか分かりませんが、あなたたちがいつまでもこの学校にいるわけではありません、この地域にいらっしゃるわけでもありません、責任を持って取り組んでくださいとはっきり言えるというのがものすごく印象に残ったところでもあります。先ほど「5上10上」に変わるという異動方針がありました、最長でも15年くらいしかいらっしゃらない人が100%に近いわけで、その15年間、あるいは最短で3年間、本当に自分の子どもとして見て、学力だけでなく、教育に携わっていただく、これが基本だろうとは思いますが、そこまで踏み込んで言えませんよね。そういう自覚を持った教育が進められるようになるといいのかなと思って河野教育長さんの話を聞いたところでもあります。もう11年教育長職にあるという話で、町長は18年でしたかね、平成11年から町長だと言われてたから、そういう二人三脚がうまく機能してあのような発言につながっているのかなというふうに思ったところです。繰り返しますが、そういうふうに言われたからするのではなくて、言われなくても済むような西都市の教職員であるといいなと思いながら教育長さんの話を伺ったところでもあります。スライドを使って説明していただいた先生も、自分の希望であそこの指導主事になられて、県からの配置のときに自分の希望でいけるということをおっしゃってました。宮崎県ではそんなことはとてもできませんから、そういう異動体制も少しは絡むのかなと思いました。良い研修をさせていただきました。ありがとうございました。

5. 議 案

委 員 長

議案の審議に入ります。

まず、議案第33号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題にいたします。説明をお願いします。

教育政策課長

議案第33号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正については、妻北小学校職員住宅（1号）、妻中学校職員住宅（1号）、妻地区教職員住宅（1号～3号）及び妻地区教職員住宅（4号）を廃止するため、所要の整備を行おうとするものです。

（資料により説明）

委 員 長

貸す前に修繕の依頼などはあるんですか。

教育政策課長

要望書の一番後の部分に、必要な補修などの費用につきましては法人が負担しますということで書いてございますので、改修費用については病院のほうで持つということになっているようでございます。

委 員 長

残りの2棟も空き部屋になったら、またそれはそのときに議題になるということですか。

教育政策課長

その2棟も含めましての6棟を今回廃止するというところでございませ

て、その入ってらっしゃる2棟につきましては、2月いっぱい退去したいというご要望がでておりますので、3月の時点では6棟とも空き住宅になって参ります。

池野委員
教育政策課長

今は先生が入居されているんですか。

教職員住宅でございますので、先生方が入居資格があるということで契約をさせていただいているところでございます。

委員長

ご意見はございませんか。

(意見なし)

委員長

お諮りいたします。議案第33号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

ご異議ないようですので、議案第33号を承認いたします。

つづいて、議案第34号 西都市文化財の指定についてを議題にいたします。説明をお願いします。

社会教育課長

議案第34号 西都市文化財の指定について、歴史的価値の高い、天然記念物 寺崎地区墓地の「オガタマの木」を西都市指定文化財として指定し、次の世代に保存しようとするものです。

(資料により説明)

委員長

ご意見はございませんか。

(意見なし)

委員長

お諮りいたします。議案第34号 西都市文化財の指定について、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

ご異議ないようですので、議案第34号を承認いたします。

つづいて、議案第35号 平成28年度補正予算要求についてを議題にいたします。説明をお願いします。

教育政策課長

議案第35号 平成28年度補正予算要求について、教育総務費など、総額33,027千円の減額補正を要求しようとするものです。

(資料により説明)

委員長

ご意見はございませんか。

(意見なし)

委員長

お諮りいたします。議案第35号 平成28年度補正予算要求について、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

ご異議ないようですので、議案第35号を承認いたします。

つづいて、議案第36号 平成29年度当初予算要求についてを議題にいたします。説明をお願いします。

教育政策課長

議案第36号 平成29年度当初予算要求について、教育総務費など特別会計と合わせ、総額805,016千円の予算を要求しようとするものです。

(資料により説明)

- 委員長 首長が替わられたということでやむを得ない事情もあると思いますが、施設の建設関係については今説明があったとおりで、それ以外については、通常経費として必要な部分と学校施設関係でいけば子どもの健康、安全管理については、いくら首長が替わられても大丈夫だろうと思いますが、12月26日付けの資料も一緒に見たんですが、その部分については、改めてまたまとめて6月に出てくるということで、一番気になるのは都於郡城跡のガイダンスセンターは動き始めていますので、しっかり頑張ってもらいたいとは思いますが、清水台の観覧席についても期待している人もいらっしゃるんじゃないかと思いますが、この辺も整備していく必要があるのかなとは思っているところであります。可能な限り学校教育、社会教育関係は、市の活性化にとって一番根幹に関わる場所でもあるんじゃないかなと思いますので、事務局の方は頑張ってもらえると有り難いと思います。以前、サッカー場の芝生が鴨の糞害があるという話がありましたが、その対策予算はあるんですか。
- スポーツ振興課長 一昨年度から委託料として、通常予算の執行残で賄っていたところなんですけれども、29年度の当初予算は新たに計上させていただいて予算を確保しております。
- 委員長 有効な手段があるんですか。
- スポーツ振興課長 今現在は警備会社をお願いをしまして、夜8時から翌朝6時まで、2名の方にA面の管理棟に滞在していただいて、飛来するたびにピストル形式のものを鳴らすというかたちをとっております。
- 委員長 立派な施設ですので管理するほうも大変だろうとは思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算については、変更はないということですか。
- 教育政策課長 これは通常予算と考えておまして、1回分の会合を予定しているところでございます。
- 委員長 この委員会がうまく機能しなかったというような報道がありました。そういった事例が起こらないことが一番望ましいわけで、起こったときはうまく機能するようにお願ひします。
- 委員長 ご意見はございませんか。
(意見なし)
- 委員長 お諮りいたします。議案第36号 平成29年度当初予算要求について、ご異議ございませんか。
(異議なし)
- 委員長 ご異議ないようですので、議案第36号を承認いたします。

6.その他

- [1] 西都市中学校大会等参加費助成金交付要綱の制定及び西都市学校体育事業費補助金交付要綱の一部改正について

教育政策課長
委員長

(資料による説明)

西都市中学校大会等参加費助成金交付要綱の附則として 62 ページから 63 ページの上段に向けて書いてあるような要綱が小学校向けにもう一つ作りますよということが書いてあるという捉え方になるんですかね。そのときに、中学校のほうは中体連が行うというのが抜けて大会になっていると、小学校のほうは小体連がそのまま残る訳ですね。

教育政策課長

中体連が行う大会を主なものとして考えていると申し上げましたが、中には中体連でやらない運動部もありまして、例えば弓道とかいうものは各県に中体連の組織がない、競技としてないところもございますので、そこは弓道連盟が主催する九州大会なり全国大会が中体連が行う大会と同じ取扱いとして見なす場合もございますので、そこにつきましては、改めて市長が定めるものとして具体的な名称を省かせていただいたところでございます。小学校につきましては、小学校体育連盟が行う事業ということで、西都市小学校体育連盟という団体が行う事業ということで、明確な団体になってまいりますので、そこに対して補助金を交付しますということにしているところでございます。

委員長

先ほど説明がありましたし、先だっては吹奏楽部に特別予算を使って補助をしますということだったんですが、小学校の場合はそのような事例は起こらないということですか。

教育政策課長
委員長

今までのところはそういった事例は聞いておりません。

県が何かやったり NHK がやったりする合唱コンクールなどがあって、金賞になったら九州大会に行ったり全国大会に行ったりするじゃないですか。そういうのは対象とならないということですか。

教育政策課長

基本的には部活動として学校教育の中でやっていくということ、そこでの九州大会、全国大会への出場というのを念頭にしておりますので、あくまで今のところ中学校の生徒さんが部活動の中でやっている競技等を対象にさせていただいているところでございます。

委員長

今年は加納小学校だったかな、ブラスバンドか吹奏楽かが良い成績をとって九州大会にいったと新聞に載ったりしたんだけど、そういう事例というのは小学校でも起こり得るような気がするので、スポーツに限定しなくても、子どもたちの情操教育や感性教育というのを目指して学校教育を進めていく上では、励みなるのかなと、頑張ったら行けるよということには要らないのかなと思ったところですが、またそういう事例が起こったときに特別どこから予算を持ってきて助成をすとかなるんですか。

教育政策課長

そこまでは考えていないところでございまして、まずは今ある中学校の運動部だけの旅費の助成について文化部まで広げたというところございまして、この新しく制定した要綱については、保護者の負担軽減を図る意味からということで、前々からあった中学校の部活動に対しての補助を広げたというところでございます。

委員長 教育を進める上でスポーツに限定をして考えて良いのかという基本的な姿勢なので、やっぱり教育を進めていく上での柱立てがある中で、そういった文化教育については、是非考えてほしいというのがあるんですね。そういう事例が起こったときに、この前は何かの残っているお金を充当するという事で吹奏楽の派遣費用に充てられたんですが、毎年そういったお金が残っているとは限らないですよ。妻高の合唱部はありえますが、西都市の小学校中学校が県の合唱コンクールで金賞というのは、なかなかないのが残念ではあるんですが、がんばれという以上は是非考えておいてほしいかなという気持ちではあります。そういう大会があるかどうか分かりませんが、山田分校の太鼓はものすごく素晴らしいですよ。もし、あぁいったフェスティバルがあつて、九州地区フェスティバルなどがあつたときに、太鼓を持ち運びするのはものすごくお金がいるから、そういうふうなところが励みになれるといいかなと思ったところです。是非今後を見据えてがんばってもらえるように、予算折衝の段階で予算を確保していただければと思います。

[2] 1月及びこれまでの定例教育委員会での懸案事項等について

教育政策課長 (学校敷地における全面禁煙の実施について、資料による説明)

池野委員 外に出るわけにも行かないでしょう。学校から外に出ても吸うところがないから、どこかに吸うところがあったほうがいいのかとも思うんですけどもね。

委員長 教職員や保護者等には何とかなるけれども、その他一般の人への周知の仕方が問題ですよ。そういう方向だから当然そうだというのは理解できるんですが、みんなが気持ちよく協力しますよというような周知ができればいいなということでもあります。知らなかったとか、注意の仕方が悪かったということにならないように、その方向でということの通知は出すけれども、細かい指導等については、またよろしくお願いします。

スポーツ振興課長 (西都原このはなマラソンについて、資料による説明)

7. 閉 会

委員長 以上で本日の会議を終わります。

8. 次回教育委員会開催日程

平成 29 年 3 月 27 日 (月) 午前 10 時から